

NEW
NOTE BOOK
MADE OF FINEST PAPER PREPARED IN TOKYO

533

WA
30

9X

1955. 7. 21

。 留伯承元帥
(第一期人民代表者会代り第2回会談で)

軍事科学が厚く兵器も
ソソトの出現で新しい
発展を遂げたと認めらる。

。 葉金英軍事力量監察部長
「中国は奇襲攻撃に備え
十分な量の最新兵器を
調達しなければならぬ。」
と述べた。

1955. 7. 27

。 葉金英

(人民代表会代り)

中国は最新兵器と大量兵器を
十分の状態で備えている。
市井の生産の促進。
過渡期の外国材の輸入の必要
と述べた。

1955年 初め

。 ソ連に於いて

核兵器による赤衛兵勝利の
決定条件にはソ連が認めらる
事になった。

1955. 5. 12

。 彭德懷国防相

(ワシントン条約締結の合意で) 言う。

「米国は世界戦争におとくがある
か否かがある。
すべての平和愛国者は警戒心を
高め、それに備えなければ
ならぬ。」

1955年

米国のアジアで厚く兵器を備えることが
不可能

1955. 3. 8

。 タレス国防長官

「中国を敵意者の明白な軍事侵略は
アジアに於ける全面戦争開始の決定
と同等する」と発表

6X 1955. 3. 29

。 人民日報 社説

「あり得る敵の軍事行動から
生じる緊急非常事態に對し
するため、われわれは陸軍を
強化し、海空軍を大幅に
強化しなければならぬ。」

5X 1955. 3. 10

。 時事新報

原、水爆は大なる破壊力を持った兵器
であるから、これを止むべきとて

① 堅固な防衛体制を作ること。

② 空軍を送り敵の厚く兵器製造所、
軍需品集積所、大規模基地を
破壊することである。

厚く爆やその他強力な兵器を
持つ人民の軍隊によって、
戦争計画はいっせいに止まる。
経てよく装備された赤軍は
平和を望む強固な軍隊となり得る。

領土が広く人口が分る中国や
ソ連のような国には敵意は少ない

原子力に関する中共要人発言集

年 月 日	項 目
④ 1952. 4. 14	○ 周恩来総理 "技師育成を命令"
1955. 中頃	○ 郭沫若 (中国科学院院長) "物理学 (特に核物理学) が将来における科学の進歩の中心的任務及び必要性の第一となろうことを述べた。"
1955. 7.	○ 劉伯承元帥 (当時参謀本部軍事訓練部長) (全人大会上で) "原子兵器とミサイル兵器の出現により、軍事科学は新発展を記録している。我々は帝国主義侵略プロックの新戦争開始の陰謀に対して高度の警戒心を持たねばならない"と述べた。
1956. 1	○ 周恩来首相 (中共党中委会が召集した "知識階級の問題" に関する特別会議上で) "世界で最も進んだ科学上の業績も中共に導入し、中共の科学面での最も追い迫った立ち遅れを、できるだけ速やかになくすことの必要性和可能性を考慮して、科学発展のための長期計画が作られた。"と公式に明らかにした。と同時に "中共の共産主義者でない知識階級に対して、彼らの創意を生かし、協力関係を深めるために、新しい政策をとるように求めた。"